

なつかし下水道アルバム



中央下水終末処理場

小樽市水道局

コンクリート作成作業



当時は現地で手練りにより、コンクリートを造っていました。
セメントや碎石等の材料に水を加えながら人力で混ぜています。
(昭和31年撮影)

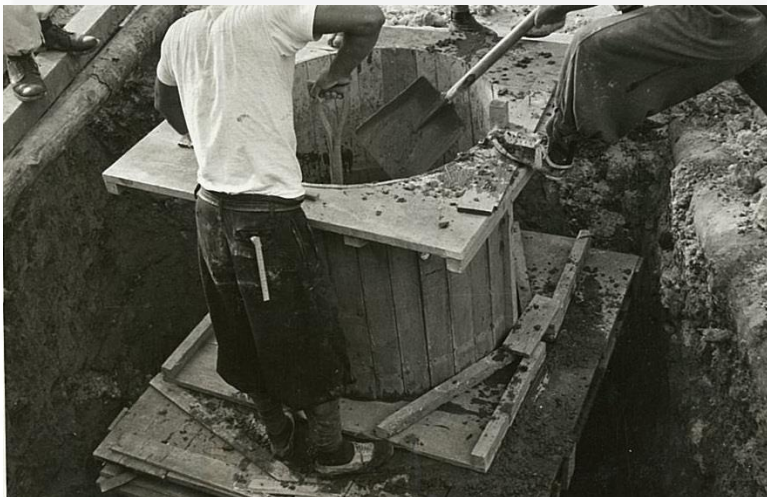
測量



マンホールの位置を決めるため水糸を張り、測量しています。

(昭和31年撮影)

マンホール基礎工事



マンホールの基礎を造るため円形の型枠へスコップを使い、コンクリートを打設しています。

(昭和31年撮影)

やぐら組み立て作業



マンホールの部材を吊り上げるため、やぐらを組み立てています。

(昭和31年撮影)

マンホール運搬作業



マンホールの部材(重量約700kg)をやぐらまで運んでいます。コロの原理を利用し、やぐらの中心まで運んでいます。(昭和31年撮影)

マンホール吊り下げ作業



やぐらと滑車を使い、マンホールの部材を吊り下げています。

(昭和31年撮影)

土留矢板設置工事



汚水管を敷設するため、土砂が崩れないように土留矢板を設置しています。

(昭和31年撮影)

汚水管敷設工事



やぐらを使って汚水管を吊り下げ、管を敷設しています。

(昭和31年撮影)

工事看板



当時の工事看板は、英語で「UNDER CONSTRUCTION」(工事中)と書かれていました。また、工事フェンスは、木製で、はしご状のものを設置していました。(昭和31年撮影)

埋め戻し作業



リヤカーを使い、埋め戻し用の土砂を運搬しています。
また、機械を使い、埋め戻しの土砂を転圧しています。

(昭和31年撮影)